

。ピアサポート研修会は3年生がメインで1年生が少なく負担になっていないのか。  
人数が増えていき特別なことではなく当たり前になっていければ良いと思った。  
職場体験では、いろんな所に受け入れてもらっているがもういし地元を増や  
せると感じた。中学生とは秋祭りなど接する機会を多くできたらと思う。  
(坂倉委員)

。人間関係づくりでまとめる側の場合正しさやこだわりなど自分の考えを  
押し付けようとするが他人の事情を理解できるようになればよい。  
職場体験では事業所へは電話だけではなく書面を活用し確認が必要。  
頭で考えるだけでなく活動で厳しさや正実さがわかればよいと思う。  
(天野委員)

。人間関係づくりでは、自分理解と他人理解ができるようになるピアサポート  
が身につく。学校やまわりが丁寧に協力していて恵まれている。(久野委員)

。先生方も悩んでいることを出しもらえたら委員が解決する要素になる。  
職場体験では学校側から企画の内容を伝えたらよい。  
顔の広い先輩達がいる。やり方をうまくやれば「学校支援コーディネーター  
ひとりだけの負担にはならない。  
いじめアンケートは答えの設定に問題があり言葉を変えていけば「解答の比率が  
変わってくるのではないのか。

。今後の活動の方向性について  
昨年の学校運営協議会でプロダンサーを紹介したとき今年も授業に関わ  
ってもらっている。  
体験や学習を通して世界を広げていけたらよい。学校の先生の話だけでなく  
カッコ良い人、輝いている人などの話を聞き刺激を与えられたらよいと思う。  
紹介できる方がいたら企画したい。  
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年1月27日(金)午後1時30分から  
現場中学校会議室で開催する旨の報告があった。



## (2) 懇議

議長の指示により、山口校長から重点教育の振り返りについて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- 蛸塚中学校サポトルム(SSR)開設、ピアサポート研修、じみんタイムをすすめている。(山口委員)
- 職場体験学習では学校支援コーディネーターの力を借り事業所の開拓をしてきたが地域の方の力は大きく働き方改革に直結している。  
ICTの活用では昨年度と比べタブレットの使用頻度が一気に上がった。  
どうやって授業に生かしているか工夫をしながら使用し、子供たちも考えて活用している。(神原教頭)
- 幼小中の連携として幼稚園や小学校の行事だけではなく子どもたちの食らないうちの生活を機会があれば見ていたきたい。  
職業体験は大人の姿を見て刺激をもてる大きなチャンス。(橋本委員)
- ピアサポートではAとBがトラブルを起すときにCが仲裁できる生徒を育てることでトラブルが起きても生徒のなかで解決できて大切なこと。  
教員の働き方改革では定時で帰る罪悪感を消さないといけない。(重信委員)
- ピアサポートでは問題解決スキルの目標を明確に設定されていて非常に良い。  
図書室の貸出しランキングは内容の軽いものが多く本に親しむ意味では入りしてもよいが先生たちを紹介しあげると言葉の使い方が伝わるのではないのか？  
学校がいじめはダメだとしかり教えないといけない。言葉の使い方により伝わり方が違い、負のほうに解釈されがち。  
市教委へ部活動の改革状況の説明と報告を次回依頼。(川上委員)
- コロナ禍で工夫して取り組んできたことが外部に対して発揮する機会が訪れようばしい。これまで止めてきた人との係わりも開放される。(田村委員)
- 先生たちの指導により子どもたちが上手に活用し浸透していることがわかりすばらしい活動をしている。中区の小中学校の作文ではピアサポートの言葉がたくさん使われどこの学校でも力を入れていると感じた。  
ICTの活用は進み方に地域差がある。ペーパーレス化はすばらしいが心配もある。マスク生活で声が聞きとりにくいので伝わるように話す必要がある。



# 令和4年度 第2回学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和4年10月26日(水) 13時30分～16時15分
2. 開催場所 蛸塚中学校 会議室
3. 出席委員 久野隆久、川上玲子、田村智代、袴田智恵美  
橋本憲幸、重信明利、佐味知成、坂倉基史、久野貴恵
4. 欠席委員 杉浦友治
5. 学校 山口俊二(校長)、柳原晋(教頭)  
柏木直人(CS担当)、小谷留美(CSディレクター)
6. 教育委員会 堀田洋一(教育総務課)
7. 傍聴者 1人
8. 協議事項
  - (1) 議長の選出について
  - (2) 熟議
    - ① 重点教育活動の振り返り
      - ・ 人間関係づくり(ピアサポート研修を中心に)
      - ・ キャリア教育
      - ・ ICT機器の活用(特別な教科 道徳の授業を通して)
    - ② 全国学力・学習状況調査から
      - ・ 結果(国語科・数学科・理科)
      - ・ 本校の課題
    - ③ 今後の活動の方向性について
    - ④ その他
9. 会議録作成者 CSディレクター 小谷留美
10. 会議記録 司会の柏木から委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。
  - (1) 議長の選出について  
司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、久野委員から佐味委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

